



大福(中国)自動化設備有限公司(江蘇省常熟市)

第106期
中間

株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日

新たな経営理念のもと、お客さまへの提供価値を変革し 持続可能な社会の実現を目指します



代表取締役社長
下代 博

当第2四半期連結累計期間における世界の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞から、国内を含む一部の国では回復傾向となったものの、ASEANなどの各国においては感染再拡大の影響により厳しい状況で推移しました。また、原材料費の高騰、部材の調達難、一部地域における人件費の上昇などのリスクが顕在化しました。

このような経済・事業環境のもと、受注は新型コロナウイルス感染症の影響により商談等が停滞した前年同期から国内を中心に大きく回復しました。売上は、豊富な前期末受注残高をベースに前年同期を上回る水準で推移しました。

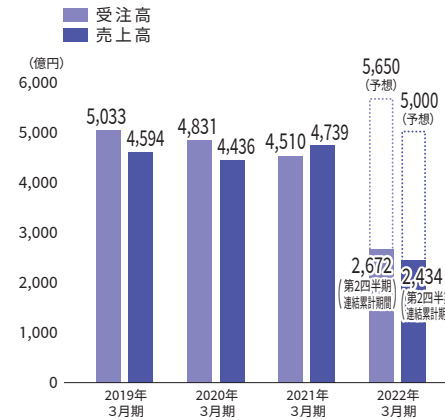
この結果、受注高は2,672億67百万円（前年同期比41.2%増）、売上高は2,434億22百万円（同5.8%増）となりました。

利益面では国内の一般製造業・流通業向けシステムがけん引し、順調に推移しました。

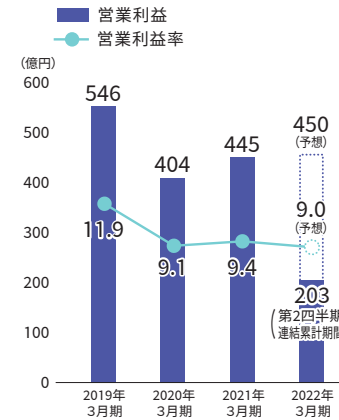
この結果、営業利益は203億27百万円（同3.3%増）、経常利益は205億40百万円（同1.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は139億19百

財務ハイライト

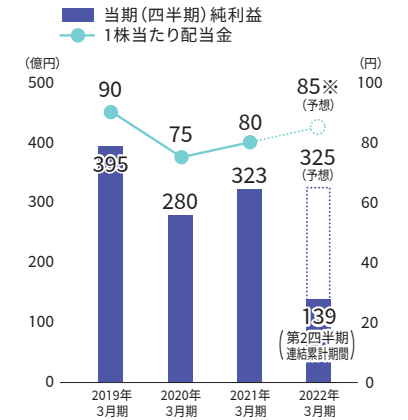
受注高・売上高



営業利益・営業利益率



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



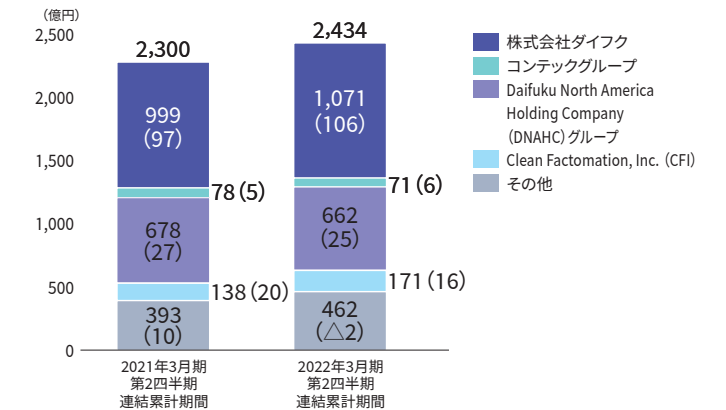
※連結配当性向33%。現中期経営計画では、2022年3月期～2024年3月期の3か年の平均で30%以上を目指します。

万円（同5.5%減）となりました。

当社グループは10月1日に経営理念を「モノを動かし、心を動かす。」に改定しました。当社グループの競争力の源泉である「モノを動かす技術」で、お客さまへの提供価値を変革し、健全で心豊かに生きられる社会の実現を目指します。詳細は7ページをご覧ください。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

セグメント別売上高・純利益

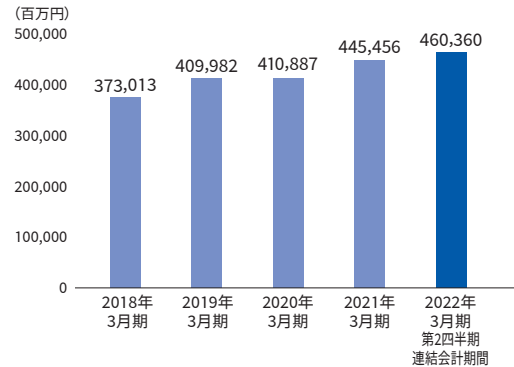


※()内は純利益。売上高の総額は連結調整後の数値です。

総資産

4,603億60百万円

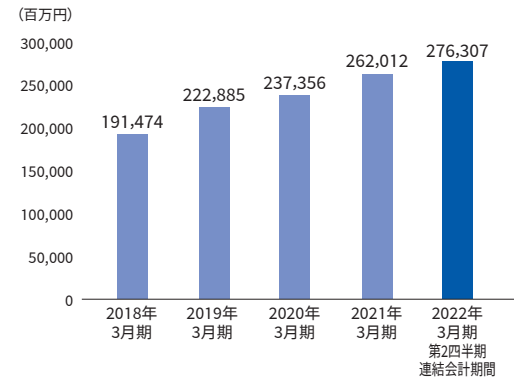
売上債権が減少したものの、現金及び預金などが増加。



純資産

2,763億07百万円

利益剰余金と為替換算調整勘定が増加。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)	前連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産	363,345	350,604
固定資産	97,014	94,852
有形固定資産	52,375	49,547
無形固定資産	9,996	10,015
投資その他の資産	34,641	35,289
資産合計	460,360	445,456
負債の部		
流動負債	159,585	149,178
固定負債	24,466	34,265
負債合計	184,052	183,443
純資産の部		
株主資本	262,999	255,282
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	21,975	21,980
利益剰余金	210,064	202,377
自己株式	△906	△941
その他の包括利益累計額	8,001	1,778
その他有価証券評価差額金	4,504	4,376
繰延ヘッジ損益	△97	△260
為替換算調整勘定	4,480	△1,425
退職給付に係る調整累計額	△886	△912
非支配株主持分	5,307	4,952
純資産合計	276,307	262,012
負債純資産合計	460,360	445,456

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	243,422	230,006
売上原価	201,880	188,501
売上総利益	41,541	41,504
販売費及び一般管理費	21,213	21,834
営業利益	20,327	19,669
営業外収益	975	1,098
営業外費用	763	423
経常利益	20,540	20,344
特別利益	259	3
特別損失	372	164
税金等調整前四半期純利益	20,426	20,183
法人税、住民税及び事業税	5,821	5,584
法人税等調整額	413	△351
法人税等合計	6,234	5,233
四半期純利益	14,191	14,950
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,919	14,732
非支配株主に帰属する四半期純利益	272	217

連結キャッシュ・フロー計算書

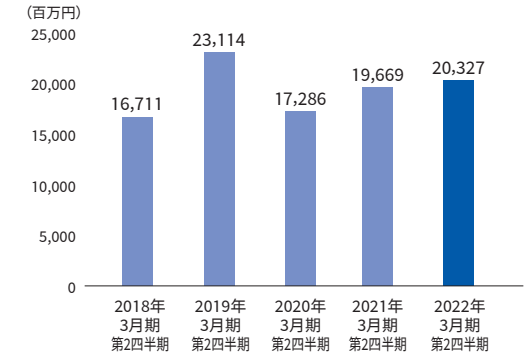
(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,459	12,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,329	△4,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,149	7,394
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,954	△1,782
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,933	13,619
現金及び現金同等物の期首残高	94,079	70,883
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	412	772
現金及び現金同等物の四半期末残高	108,425	85,276

営業利益

203億27百万円

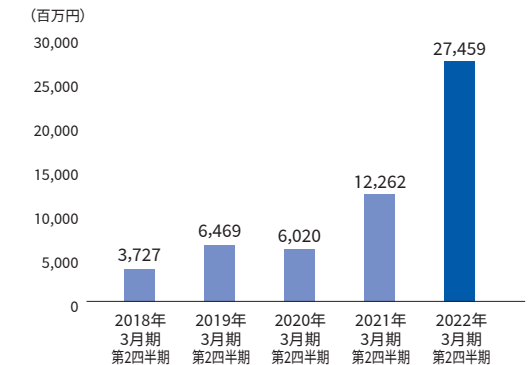
国内の一般製造業・流通業向けシステムがけん引。



営業活動によるキャッシュ・フロー

274億59百万円

税金等調整前四半期純利益が増加し、売上債権及び契約資産が減少。



DX²による提供価値の変革

DX² (DXスクエア) = Digital Transformation × Daifuku Transformation

中期経営計画「Value Transformation 2023」ではコンセプトの一つに「DX²による提供価値の変革」を掲げています。当社グループのDX (Digital Transformation) の取り組みの一部を紹介します。

遠隔地からも参加

株主限定参加型バーチャル株主総会

当社は、2021年6月25日に開催した第105回定時株主総会で初めてバーチャル方式を採用し、インターネットを通じて株主さま限定で株主総会の様子をライブ配信しました。この結果、ライブ配信の参加者は70名で、多くは遠隔地からご参加いただきました。

議決権行使率は、86.49% (前年度86.90%) と高い水準を維持しました。



議長席前にライブ配信用のカメラを設置

工期の短縮

3Dソフトウェア「Sym3」

システム全体の稼働状況と搬送状態をリアルタイムで3D表示し、監視・管理することができるソフトウェア。これを活用することで事前に仮想検証ことができ、システム全体の完成度を出荷前に極限まで高められるようになりました。多数の荷物を用意し、コンベヤに流して行う現地での試運転も、Sym3ではソフト上で行うことができ、現場の施工から稼働にかかる時間の短縮に貢献しています。

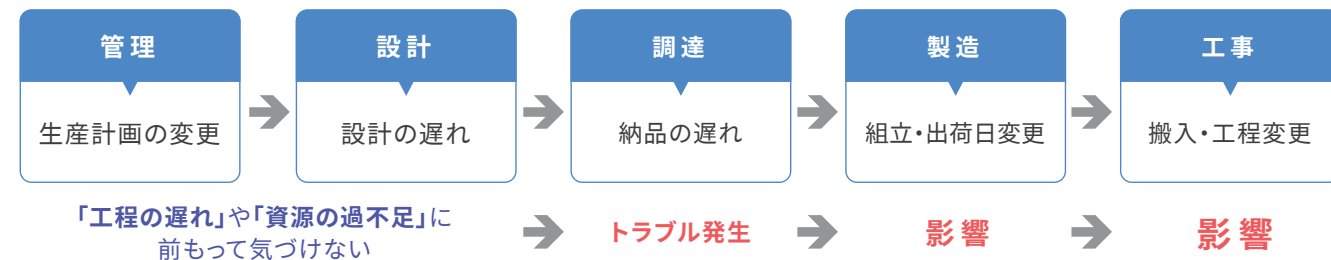


Sym3を使った仮想検証

モノづくりの「見える化」

生産工程をデータベース化し、情報を一元管理

従来は、生産・工事各部門の担当者が個別に工程を管理していたため、情報が分断され、進捗や負荷が見えず、工程の遅れや資源の過不足が生じる場合があります。



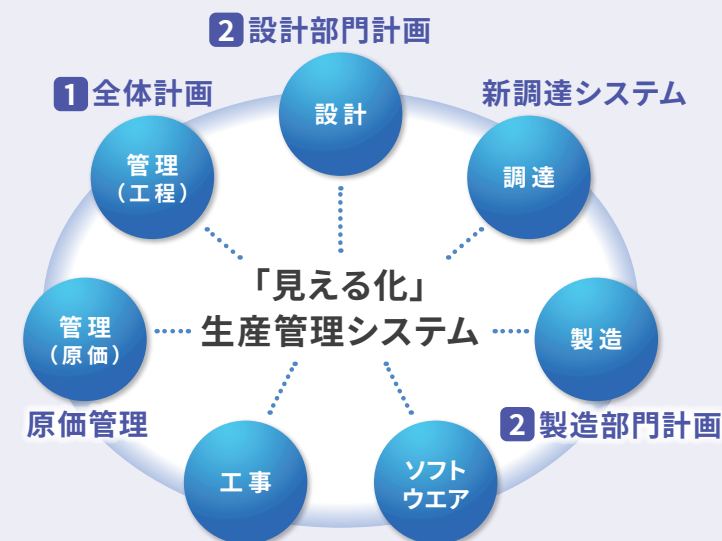
そこで、新たな生産管理システムを構築しました。生産工程をデータベース化し、情報の一元管理に取り組んでいます。進捗と負荷が「見える化」し、以下ができるようになりました。今後は収益性の向上に加えて、従業員の働きがいの向上にもつなげていきます。

1 全体計画

需要に対応するための資源(人・原材料など)の効率的な振り分け

2 設計・製造部門計画

負荷の分散、計画の前倒し



新経営理念の策定

ダイフクグループは2021年10月1日付で経営理念等を改定しました。新たな経営理念には「モノを動かし、心を動かす。」を据え、現中期経営計画で掲げる「Value Transformation (提供価値の変革)」、環境や人権配慮などの視点を取り入れています。また、理念体系およびブランド体系の見直しも実施し、ブランドメッ

セージを「Automation that Inspires」に変更しました。今後、新たな経営理念のもと、役員および従業員の一人ひとりが提供価値の変革を進め、当社グループの持続的な成長と、持続可能な社会の実現への貢献を目指していきます。

経営理念

モノを動かし、心を動かす。

ダイフクは、マテリアルハンドリングを核とする「モノを動かす技術」で、心豊かに生きられる社会を創造します。

私たちは、

1. 人と環境への負荷を最小化し、人権の尊重と責任あるものづくりを実践することで、持続可能な社会の実現に貢献します。
2. 世界のお客さまと誠実に向き合い、革新的技術と最適最良のソリューションでスマート・ロジスティクスを実現します。
3. 多様性を尊重する自由闊達な企業風土のもと、一人ひとりが変革に挑戦します。同時に、経営基盤を強化し透明性の高いグローバル経営を行います。

理念体系

社是

経営理念

グループ行動規範

ブランドメッセージ

〈DAIFUKUロゴとの組み合わせ〉

DAIFUKU
Automation that Inspires

子会社が展示会に出展(米国・中国)

7月11日から13日、Jervis B. Webb CompanyとElite Line Services, Inc.は米国ラスベガスで開催された米国空港幹部協会主催の「第93回AAAE Conference and Exposition」に共同出展しました。



タブレット端末でエアポート事業の製品・ソリューションを紹介

7月14日から16日、大福(中国)物流設備有限公司は、上海新国際博覧センターで開催された「2021アジア冷蔵・冷凍倉庫建設・運営展示会」に出展し、VR(バーチャルリアリティ)を活用して製品や技術力を紹介しました。



ナレーターによるプレゼンテーションも実施

「ダイフクエコアクション」による外部団体への寄付

「ダイフクエコアクション」は、環境活動に参加した従業員に対してエコポイントを付与する当社独自の環境プログラムです。また、従業員へ付与したエコポイントに応じた金額を外部団体へ寄付しています。

2020年度は延べ7,122名の従業員が参加し、そのポイント数に相当する311万円を6つの外部団体へ寄付しました。

8月20日、東京本社にて「国連生物多様性の10年日本委員会」に寄付金の目録を贈呈しました。寄付金は、生物多様性に関わる学生の国内外での生物多様性普及啓発事業に使われます。



国連生物多様性の10年日本委員会 河村様と当社常務執行役員 田久保 秀明(写真左)

社是 Company Creed



今日の「われ」は
昨日の「われ」にあらず
明日の「われ」は
今日の「われ」にとどまるべからず

Today we are doing better
than we were yesterday.
Tomorrow we will be growing
ahead of where we are today.

経営理念 Management Philosophy

モノを動かし、心を動かす。
Automation that Inspires

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社ダイフク (Daifuku Co., Ltd.)
設立 1937年5月20日
資本金 318億6,530万円
代表者 代表取締役社長 下代 博
従業員数 12,078人(グループ総数)
主要拠点 本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11
TEL : 06-6472-1261 (代)
東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング
TEL : 03-6721-3501 (代)
事業所
滋賀 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225
TEL : 0748-53-0321 (代)
小牧 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103
TEL : 0568-74-1500 (代)
支店 北海道、東北、新潟、北関東、東京、藤沢、静岡、名古屋、東海
北陸、大阪、中国、九州
海外 支店や現地法人を26の国と地域に展開しています。

役員一覧 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	下代 博
取締役専務執行役員	本田 修一
取締役常務執行役員	佐藤 誠治
取締役常務執行役員	林 智亮
取締役常務執行役員	信田 浩志
取締役	小澤 義昭
取締役	酒井 峰夫
取締役	加藤 格
取締役	金子 圭子
監査役(常勤)	木村 義久
監査役	相原 亮介
監査役	宮島 司
監査役	和田 信雄
常務執行役員	岸田 明彦
常務執行役員	堀場 義行
常務執行役員	上本 貴也
常務執行役員	三品 康久
常務執行役員	田久保 秀明
執行役員	西村 章彦
執行役員	権藤 卓也
執行役員	喜多 浩明
執行役員	鳥谷 則仁
執行役員	日比 徹也
執行役員	山本 誠二
執行役員	前田 勉
執行役員	寺井 友章
監査役員	齊藤 司

(注)小澤義昭、酒井峰夫、加藤格、金子圭子は、社外取締役です。
相原亮介、宮島司、和田信雄は、社外監査役です。

株式の状況 (2021年9月30日現在)

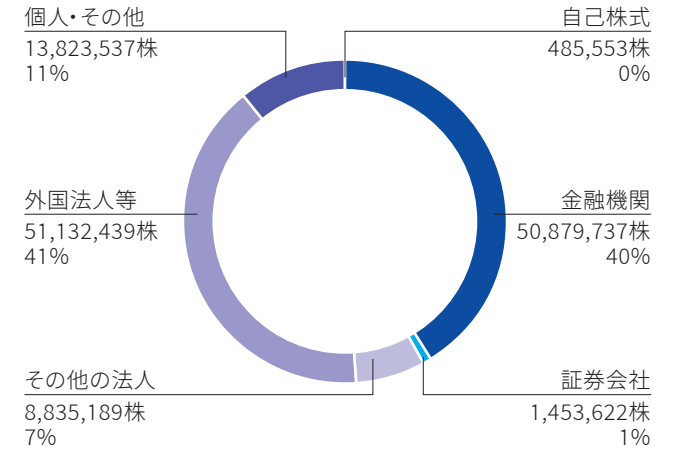
発行可能株式総数 250,000,000株

発行済株式総数 126,610,077株

株主数 22,303名

※株主数は前期末に比べ、1,869名減少しました。

所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



第106期 中間配当金のお支払いについて

第106期中間配当金は、2021年11月5日開催の取締役会において、1株につき35円と決議しています。同封の「第106期中間配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)で払渡期間内(2021年12月3日から2022年1月5日まで)にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には、「配当金計算書」

および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)へお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の当社ホームページアドレス
www.daifuku.com/jp/ir/stock/notice

上場証券取引所 東京第1部

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1-4-1
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜4-5-33
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

株式に関する手続き・よくあるご質問はこちら



【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しています。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

表紙写真の説明

生産能力増強を目的に、常熟工場の建て替え工事を実施。太陽光発電システムを全面的に採用し、環境保全に対応。

DAIFUKU
Automation that Inspires

株式会社ダイフク

本社：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11
東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング
www.daifuku.com/jp

TEL：06-6472-1261(代)
TEL：03-6721-3501(代)